

こんにちは! 社協です!!

ふれあいネットワーク

2017

5月

No.143

特集 P2・3

善意の預託と社協会費を
6月にご依頼します

ひ孫と
いっしょ

波賀町 育木

こばやし ます え
小林 増枝さん(84歳)

シリーズ142

○暖くん(3歳)

○源くん(1歳)

こばやし しんじ ゆ き な
小林 伸滋さん・友希菜さん

■長男・二男

6月1日は
『善意の日』

穴栗市の地域福祉活動を支える

『善意銀行』



6月は「善意推進月間」。トライやるウィークの生徒たちが啓発活動に参加（波賀支部 H28.6.1）

地域福祉活動を支える貴重な財源「善意銀行」。
そして、本会の運営に必要な財源「社協会費」。
今年度も「善意の預託」と「社協会費の納入」を6月の同時期にご依頼いたします。お願いする期間は「6月と7月の2か月間」とさせていただきます。
住民のみなさまにはご負担をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

穴栗市社協

「善意の日」の取り組み

毎年6月1日は、兵庫県内各地で「善意の日」にちなみ、さまざまな催しや記念行事などが行われます。

穴栗市社協では6月を「善意推進月間」として、地域を巡回する啓発活動やしいたん放送による呼びかけ、善意の日パレードや街頭啓発活動など、少しでも多くの方のみなさまにご理解とご協力をいただけるよう推進活動に取り組めます。

また、ボランティアセンターで

は「ボランティアの日」を設け、市内の福祉施設や道路で清掃美化活動に取り組み、市民のみなさまの参加を呼びかけます。

善意の気持ちを

地域福祉のために

穴栗市善意銀行には、市民のみなさまから、「自分たちの善意の気持ちを社協活動や地域福祉に活用してください」と、供養や見舞い返しにかえた寄付金預託や切手、ハガキなども預託いただいています。

お寄せいただく貴重な善意は、穴栗市の福祉活動を推進してい

平成29年度穴栗市善意銀行の事業計画(予算)

主な事業内容	金額(円)
地域福祉の推進に ・小地域福祉活動・支部かわら版の作成費用 ・子育て支援活動・介護者の会など当事者支援活動 など	4,359,000
ボランティア活動の推進に ・ボランティア講座の開催経費 ・ボランティアグループへの助成 など	3,400,000
ひとり暮らしの高齢者の食生活支援や安否確認を行う配食サービスに	700,000
認知症高齢者や障がい者の権利を守る活動に	380,000
住民主体の支え合い活動の推進に	370,000
福祉関係団体(5団体)への助成に	505,000
家屋火災時の見舞金や大規模災害発生時の支援金として	100,000
善意の日の啓発事業および善意銀行運営経費として	86,000
支出合計(予算)	9,900,000

くためになくはならない財源
となっています。

「善意の預託」に

「ご協力をお願いします」

預託金の使途について市民のみなさまにご理解いただけるよう努めて参りますので、善意推進月間中には誠に恐縮ですが、自治会長様を通じて「善意の預託袋」をみなさまのご家庭にお届けいたします。

今年もみなさまのあたたかいお気持ちを善意銀行へお寄せいただきますよう、ご協力をお願いいたします。

平成29年度 社協会費のお願い

ご協力
お願いします
1世帯
1,000円

あなたの会費で 社協を支えて下さい!

会費は、宍粟の地域福祉を進めるための貴重な財源として、
社協事務局の「運営費」や「活動費」として活用します。

社協の役割と 存在意義

社協は住民のみなさまを「会
員」として、地域福祉活動に取
り組む民間の福祉団体です。

その組織特性は、住民主体
を原則としながら、「協議体」と
して横断的に関係者をつなぎ、
「運動推進体」として住民や関
係者と解決に向けた活動に取り
組み、「事業体」として生活課題
に対応する事業の開発や実施
をすることが、社協に求められ
る役割です。

また、地域での生活課題や困
りごとの解決が、住民相互に協
力して助け合うだけで困難な場
合は、社協もいっしょになつて考
え地域づくりに取り組んでいき
ます。

使命は

地域福祉の推進

平成29年度は、介護保険制度
の新たな「総合事業」が全市町
村で実施されるほか、平成30年
度に向けて生活困窮者自立支
援法をはじめ、数々の福祉関連
法の見直しが行われる予定で、



宍粟市社協本部(一宮保健福祉センター)

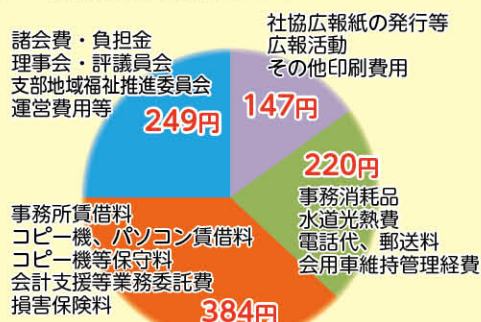
会費は、社協事務局の運営費や広報活動などにも活用しています

社協が果たす役割はますます
大きくなっています。

そんな中、宍粟市社協では、
介護や子育て、生活困窮など幅
広分野の福祉課題を受け止
めながら、問題の解決にむけた
相談や支援を行うなど、地域福
祉の推進に必要な事業を実施
していきます。

会費(1,000円)が このように活かされます

平成29年度宍粟市社協予算より



社協は、住民のみなさまと
もに地域福祉活動を推進してい
ます。ご支援いただく会費が、
宍粟市の福祉活動を支えます。
任意ではありますが、前年度
会員のみなさまを中心に、一世
帯あたり千円の会費を自治会
長様のご協力を得て納付をお願
いいたします。

みなさまには大変なご負担を
おかけしますが、ご協力をよろ
しくお願いします。

(山崎支部長 春名豊滋)

会費で支えていただく 社協活動

読者の
感想より

「こんにちは!社協です!!」の表紙、高齢の方のうれしそうな笑顔、ひ孫さんといっしょに幸せだなあとホッと
します。いいですね(山崎町 女性)

や

まさき

「三谷の自慢できるええとこ」

中山広場と憩いの小屋

4月14日(金)、三谷自治会の中山神社裾野にある中山広場へお邪魔すると、グラウンドゴルフ終了後、老人クラブのみなさんが、満開の桜の下で、お花見を楽しまれました。

中山広場には、「憩いの小屋」と呼ばれる休憩所があり、お手製ドラム缶の暖炉を囲み、お茶を飲みながらおしゃべりが弾む集いの場になっています。

この小屋は、老人クラブと地域の有志が、資材や廃材を持ち寄って増改築を行い、今年3月には、鉄板が常設された台所も完成しました。

新井稔章^{あらいとしあき}老人クラブ会長は、「子どもが減ってさみしいけど、自分たちが楽しむために出来ることをしようと話し合ってるんや」と言



奥に見えるのが、「憩いの小屋」。鉄板で焼かれたアツアツのお好み焼きと焼きそばに笑顔がこぼれます(三谷中山広場)

われまず。

また、広場には紅葉や桜の木を植樹し、さらにみんなが楽しめる居心地の良い場所になるよう整備されています。

小林義明^{こばやしあき}自治会長は、「ここは、誰もが気軽に寄って喋れる自慢の場所なんや」と、広場の大切さを話されました。

このように、地域資源を大切に住民みんなが協力し合い、自分たちで居場所づくりを進めていくことは、今後ますます重要となります。

(山崎支部 山本めぐみ)

い

ちのみや

毎日集まってるんやで

曲里のホッとグラウンド

今回は、一宮町曲里で健康づくりと住民同士の交流のため、グラウンドゴルフを毎日楽しんでいる集まりをご紹介します。

4月13日(木)、曲里コミュニティグラウンドを訪ねると、9人が和気あいあいとゲームをされていました。

ゲーム終了後は、グラウンドの休憩所でお茶を飲みながら花見の計画や最近の出来事などについて話しあう、楽しいひとときです。

「グラウンドゴルフだけが集まりの目的じゃないで。その後のおしゃべりも楽しみなですよ」と世話役の檀山正弘^{かしやまさひろ}さん。

このグラウンドは、8年前の台風9号豪雨災害で被害に遭いましたが、その後も集まりが続いており、地域の集いの場と



「天気が良ければ毎日集まっていますよ。みんな、毎週1回のいきいき百歳体操もしてるんやで」(曲里コミュニティグラウンド)

して大切にされています。さらに、毎日顔を合わせて話を楽しむ時間は、住民同士のつながりづくりに欠かせないものになっています。

あなたの地域でも、みんなでホッと一息つける居場所づくりに取り組んでみませんか。社協がお手伝いします。

(一宮支部 上川あゆみ)

や・い・は・ち トピックス

みんなで乗ってバスを守ろう

水谷のアイデアウォーキング

平成27年11月から運行が始まったしーたんバス。水谷からメイプル福祉センター間を走る水谷線はこれまでバスの運行がなかった水谷自治会の方々とって大切な路線バスです。

4月19日(水)、バスの発車時刻に合わせ水谷公民館前に人が集まってきました。

この日は、水谷自治会の65歳から75歳の6人が集まり、慣れた様子でバスに乗り込み上野で下車、そして、今度はこの道(約2・5km)を歩いて帰ります。清々しい春風の中、おしゃべりをしながら約30分のウォーキングを楽しみました。

この取り組みは、水谷線を守るため、車に乗れない方だけでなく、車に乗る方も率先してバスを利用しようと有志が集まり、毎週2回の運行日にバスに乗り、ウォーキングを行っています。

発起人の大段和子さんは「バスを守るためにたくさん乗っ



この日の水谷線は、他の利用者もありバスの定員(9名)いっぱいになりました。(山田橋前バス停で下車 波賀町上野)

て、そして歩くことが介護予防になる。一石二鳥です」と話されます。

ちょっとしたアイデアでバスの利用を増やし、健康づくりにもつなげるこのウォーキング。大切な路線バスを守るためにも、市内で同じ課題をもつ地域のヒントになる取り組みではないでしょうか。

(波賀支部 田中祥仁)

地域を元気づける拠点に!

道の駅ちくさリニューアル

4月25日(火)、リニューアルオープンした道の駅ちくさ(下河野)を訪れました。

当施設は、佐用町にある「社会福祉法人はなさきむら」が、穴栗市から指定管理を受けて、はな

さきむら作業所(就労支援B型)の出張所として地元住民の協力をいただきながら運営されています。

レストランの厨房で調理をしている作業所の利用者さんは、「楽しく仕事しています。ここに就職できるよう頑張っています」と笑顔で話されました。

また、駅長の目黒有博さんは、「誰でも働きやすいこの施設で、地域の人との関わりを大切にこれから取り組んでいきたい」と、抱負を語ってくださいました。



レストラン、特産館、デイキャンプ場、ドッグランがあり5月よりドッグカフェがオープンしました。みなさんお待ちしております。(道の駅ちくさ)



地元のスタッフの方も新たなメンバーといっしょに働くことを楽しみにされています。地域の方々とのふれあいでも、障がいのある方たちが自立した生活を営めるきっかけにつながればと感じました。

はなさきむらのチャレンジは始まったばかりですが、道の駅ちくさが、いろんな人が出入りし、地域を元気づける拠点となるよう期待しています。

(千種支部 横山洋子)

はが

ちくさ

ボランティア連絡会から 「ボランティアの日」の お知らせ

6月の善意推進月間に
ちなんで、ボランティア
連絡会では、誰もが参加
できる「ボランティアの
日」を下記の通り行いま
す。みなさん、ぜひ、ご参加ください。



- 山崎** 6月2日(金) 午前10時～11時30分
山崎町内の清掃活動
- 一宮** 6月19日(月) 午前9時30分～11時30分
まどか園(車椅子の清掃)
はりま自立の家(施設内清掃)
- 波賀** 5月25日(木) 午前10時～11時30分
しそう自立の家(施設内清掃)
- 千種** 6月3日(土) 午前9時～11時
千種町内の清掃活動

▲お問合せ:各支部

宍粟市社協 ボランティア活動助成金 をご活用ください

市内で活動しているボランティアグループ
へ、ボランティア活動の助成金を交付します。

○助成対象グループ

- ・宍粟市ボランティア・市民活動センター
に登録
- ・グループ活動を継続的に実施
- ・ボランティア連絡会の活動に参加 など

○助成金額

- ・上限 15,000円
- ※ボランティア連絡会に未加入の場合
上限5,000円

○申請締切

6月26日(月)

○交付日

7月25日(火) 予定

※様式等は宍粟市社協
ホームページに
アップしています。

▲お問合せ:各支部



第 62 回こどもホームステイ事業 ホストファミリーになってください

ホストファミリーと
そうめん流し



7/21(金)～7/25(火) 4泊5日

今年で62年目を迎える「こどもホームステイ
事業」は、親元を離れて生活している児童養護施
設の子どもたちにあたたかい家庭の雰囲気をも
ってもらふことを目的に取り組んでいます。

○受け入れていただく児童

3歳児～小学6年生

(西播磨地区の児童養護施設のホームステイ
を希望している子どもたち)

▲お問合せ:各支部

初夏の楽しいイベント

お手伝いボランティア募集

はりま自立の家
オープンハウス

5月21日(日)

午後1時30分～3時30分

内 容

ライブコンサート、子ども広場
手作りお菓子とお茶サービス
チャリティバザール

※バザールの品物の提供も歓迎しています。

お問合せ

はりま自立の家

一宮町伊和872-48 ☎ 72-2135



しそう自立の家
オープンデー

5月27日(土)

午後1時30分～4時

内 容

ライブコンサート、喫茶コーナー、
作品展示、チェシャーベーカーリーのパン
販売等

お問合せ

しそう自立の家

波賀町小野502-5 ☎ 75-2275